

ツインシティ倉見地区まちづくり意向調査 集計結果報告

実施：令和5年9月

対象：新駅周辺整備検討区域（おおむね24ha）の土地所有者

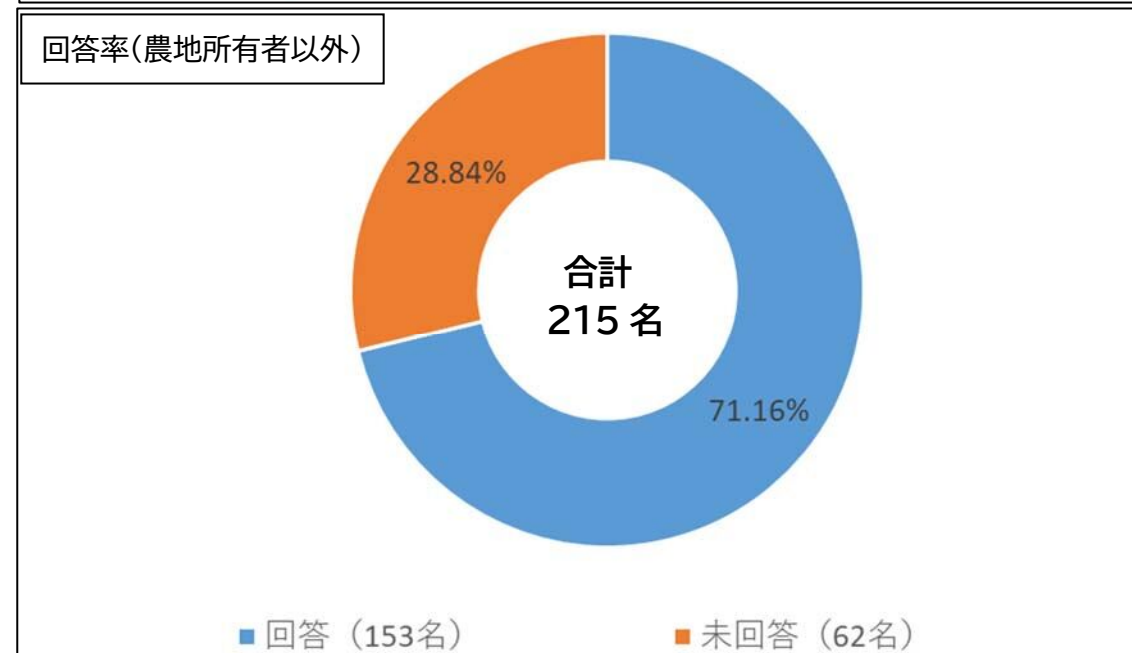
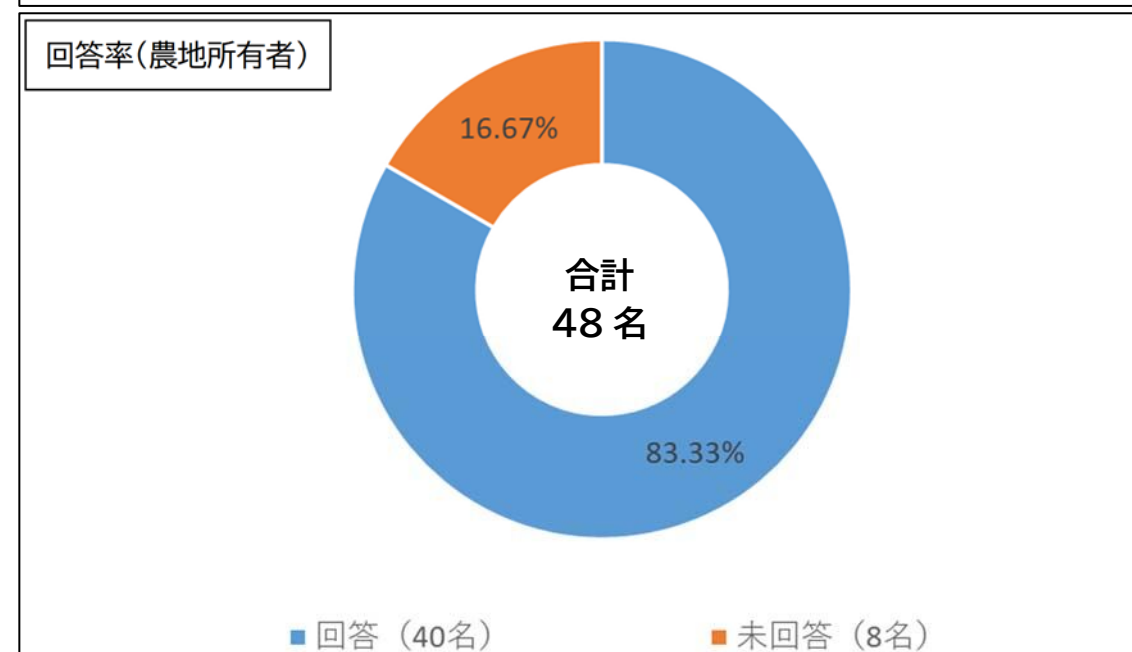
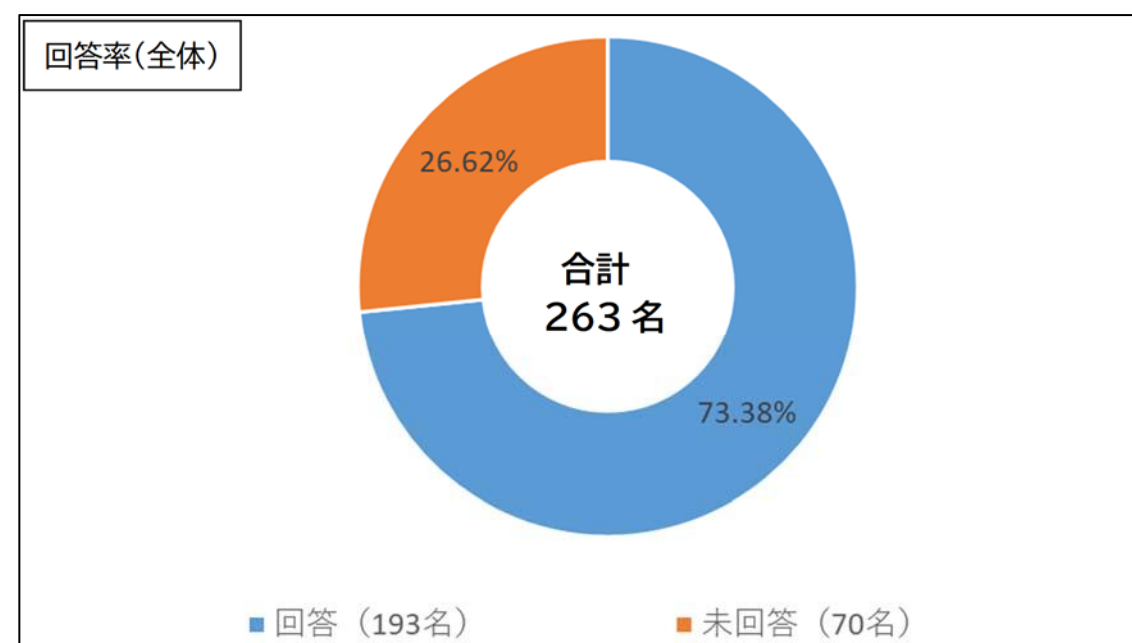
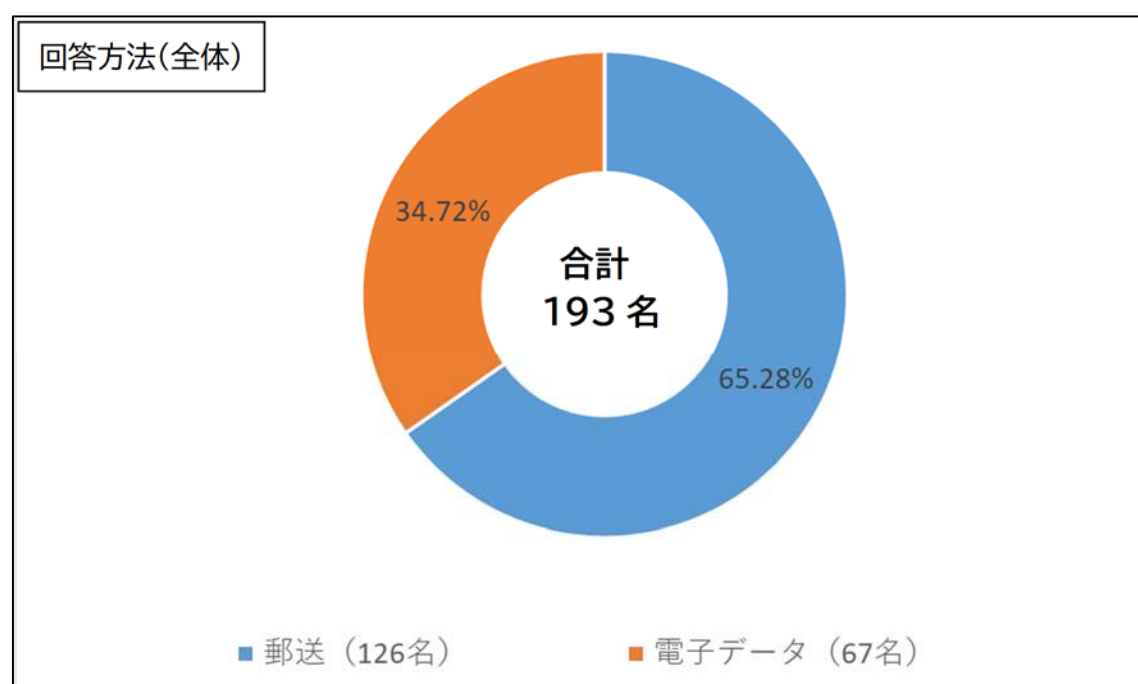
人数：263名

内、農地所有者48名（18.25%） 農地所有者以外215名（81.75%）

※円グラフの構成比は小数点以下第3位以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

◆回答率

- 全体の回答率については、7割を超えており、回答率が高い結果となりました。
- 農地所有者からの回答は回答率が8割を超えており、農地所有者以外よりも高い水準となっています。
- 今回、回答の回収にあたり、「郵送」回答に加え、新たに「パソコン」や「スマートフォン」から回答できるよう電子申請システムを活用しました。
- 「パソコン」や「スマートフォン」からは、3割を超える回答を得ることができ、回答率の向上に貢献したと考えられます。



※記載意見(点線囲い)については、個人が特定できる内容を除き、加筆や修正等せず、原文をそのまま掲載しております。

<設問ごとの全体傾向>

まちづくりの考え方について

【選択肢】

1. 将来(次世代)のためには計画的なまちづくりを進めるべきである
2. どちらかと言えば将来(次世代)のためにまちづくりを考えていったほうがよい
3. どちらかと言えばまちづくりは考える必要はない
4. まちづくりはすべきではない
5. その他

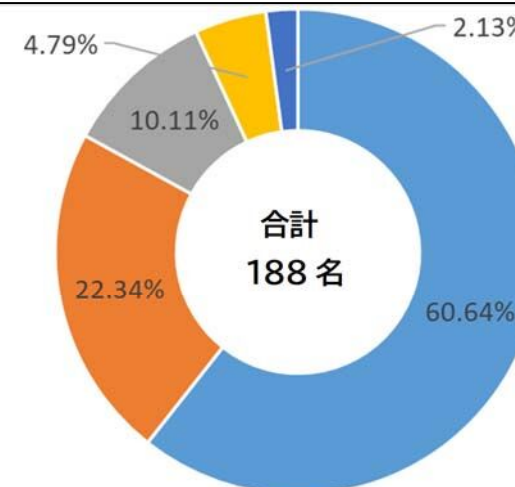
・賛同的なご意見(1及び2)が、8割を超えており、否定的なご意見(3及び4)は少数であることから、多くの土地所有者は将来(次世代)のためのまちづくりについて、「何らかの必要性」は認識していると思われます。

5. その他での記載意見

- ・現実的な計画が必要、現在は、全く感じられない。
- ・こだまが停車すれば便利だが、話が前々からあるが一向に進んでいない。やらないのかやるのか決めるべきである。
- ・定住する人、移転したい人を分けると、寒川駅周辺のように、町で企画整備していただき、多少のずれは有ると思いますが、話し合いで、自分の土地を設定する。
- ・本格的な少子化になってきました。10年後はさらに少子化が進んでいると思います。政府によるVPP事業も後押ししているようなので、町全体でエネルギーへの取り組みが次世代のための町づくりには必要かと思えます。
- ・今のご年配の意見より、その子等・次世代の意見を反映した方が良いと思います。

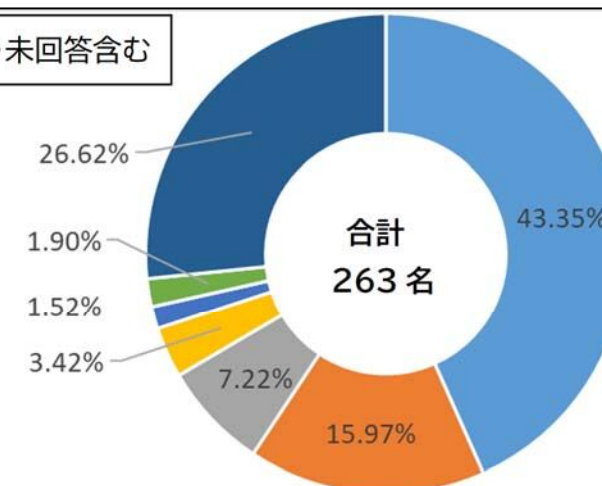
・その他の意見として、「必要性」に関する具体的な意見、例えば、次世代に向けた新たなまちづくりが必要になってくるとのご意見や、これに対して計画の進め方や必要性を心配されているご意見などもありました。

回答分析グラフ



- 1. 将来(次世代)のためには計画的なまちづくりを進めるべきである (114名)
- 2. どちらかと言えば将来(次世代)のためにまちづくりを考えていったほうがよい (42名)
- 3. どちらかと言えばまちづくりは考える必要はない (19名)
- 4. まちづくりはすべきではない (9名)
- 5. その他 (4名)

【参考】無回答・未回答含む



- 1. 将来(次世代)のためには計画的なまちづくりを進めるべきである (114名)
- 2. どちらかと言えば将来(次世代)のためにまちづくりを考えていったほうがよい (42名)
- 3. どちらかと言えばまちづくりは考える必要はない (19名)
- 4. まちづくりはすべきではない (9名)
- 5. その他 (4名)
- 無回答 (5名)
- 未回答 (70名)

※記載意見(点線囲い)については、個人が特定できる内容を除き、加筆や修正等せず、原文をそのまま掲載しております。

市街化区域への編入について

※市街化調整区域の土地所有者のみ回答

【選択肢】

1. 市街化区域への編入に賛同する
2. 賛同する、賛同しないは条件次第である
3. 市街化区域への編入に賛同しない
4. その他

・「1 賛同する」が約半数となっているものの、「2 条件次第」では、具体的な条件面や、これらに係わるさまざまなご不安・心配の声が寄せられています。まちづくりを行うことでのメリット・デメリットの説明や、それら「条件面」に関する勉強会等については今まで行ってこなかったこともあり、記載いただいたご意見以外の理由もあるのではないかと考えています。

これらのことから、「3 賛同しない」の回答者を含め、今後そうしたお声（条件面）に対する「明確な取り組み」が必要と考えています。

2. 「賛同する、賛同しないは条件次第である」での記載意見

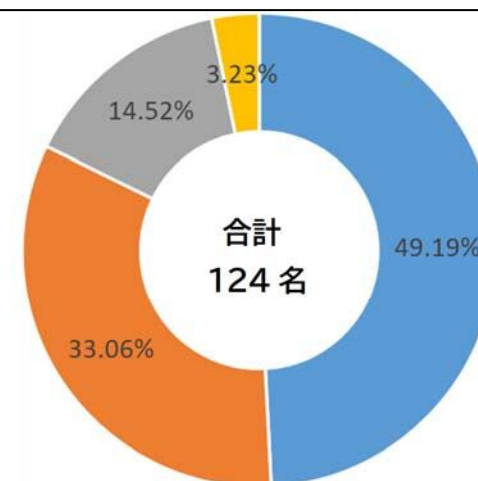
【移転・補償】

- ・代替地や土地代の条件次第。
- ・住みやすい場所に移動できるような配慮。
- ・ほかの地域への引っ越しも検討したい。
- ・今と同じ土地の広さの確保と金銭的なデメリットがないのであれば賛同。
- ・居住地転居の際、不利益にあってはならない。
- ・近くにスーパーがあるところがよい。
- ・今の土地の広さの確保。
- ・今の生活環境が気に入っているのので、今後、新幹線の新駅ができた際に移転する事になった場合の生活環境次第。
- ・土地が少しでも減るのが嫌である。
- ・現状は農地で相続した土地なのですが、いずれ家を建てたい希望もあります。この計画ですとその土地を手放さなければならなくなるので、その際は代替地等の補償が欲しい。
- ・代替地もしくは保証の金額によります。
- ・調整区域から市街化区域への移動ができたら良いと思います。

【税金】

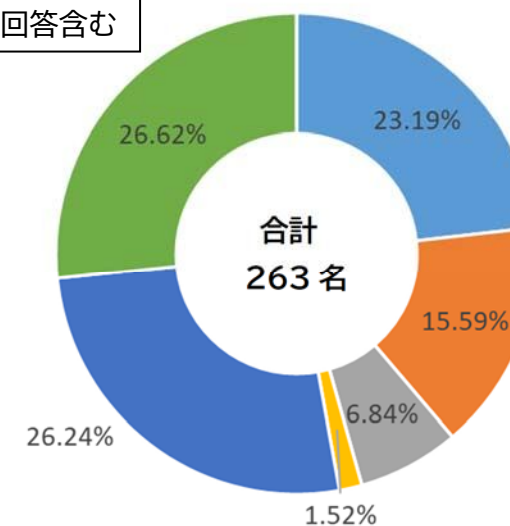
- ・税金の増加をしない。
- ・開発地の為に市街化区域になるからとはいえ、これからの増税は考えてしまう。
- ・相続税、固定資産税があがってしまう事を心配している。

回答分析グラフ



- 1.市街化区域への編入に賛同する (61名)
- 2.賛同する、賛同しないは条件次第である (41名)
- 3.市街化区域への編入に賛同しない (18名)
- 4.その他 (4名)

【参考】無回答・未回答含む



- 1.市街化区域への編入に賛同する (61名)
- 2.賛同する、賛同しないは条件次第である (41名)
- 3.市街化区域への編入に賛同しない (18名)
- 4.その他 (4名)
- 無回答 (69名)
- 未回答 (70名)

※市街化調整区域の土地所有者のみ回答する設問のため、無回答者が多い結果となっています。

※記載意見(点線囲い)については、個人が特定できる内容を除き、加筆や修正等せず、原文をそのまま掲載しております。

【その他】

- ・次世代に繋ぐ土地利用をしたいので、産業に力を入れるだけでなく、併せて子育てしやすい環境を街として取り組んで、具体的に示して欲しい！その事が、街の活性化にもつながると思う。
- ・より良いまちづくりの計画が出れば賛同します。
- ・新幹線新駅設置は計画が始まって何十年にもなるが、一向に進んでおらず期待できない。
- ・まず、市街化区域にしないと始まらないと思います。調整では限界があると思います。
- ・下水道等のインフラ整備がすぐに使用可能になることで賛同。

4. 「その他」での記載意見

- ・自分の土地が調整区域だけどそっちに移動したい。
 - ・具体的な計画ありきである。
 - ・年金が増えないのに税があまりにも多く増税されると払い切れません!!
- ・市街地区域への編入に関わる話であることから、税金の増加や補償への対応に関してご不安を持たれるご意見が目立つ結果となっています。
- ・具体的な税額や移転、補償に関する事柄などについては、土地利用計画や事業手法などが未確定であることから、現時点ではお示しできる状況にはありませんが、それらを少しでも明らかにする（事例、モデルケースなど）ためにも、テーマ別・属性別勉強会などを開催することで、ご理解を深めていただき、（賛同）へのご理解を得ていきたいと考えています。

※記載意見(点線囲い)については、個人が特定できる内容を除き、加筆や修正等せず、原文をそのまま掲載しております。

土地利用の方向性について

【選択肢】

1. 賛同する
2. 賛同するが、もっと土地活用が図られる土地利用とした方がよい
3. 賛同しない
4. その他

・「1 賛同する」「2 賛同するが、もっとよい土地活用がある」(条件つき)の割合が7割であり、多くの回答者が新駅の駅前にふさわしい土地利用の方向性に賛同するとのご意見でした。一方で、「3 賛同しない」も2割弱おり、さらなるご理解の醸成が必要と考えています。

2. 「賛同するが、もっと土地活用が図られる土地利用とした方がよい」での記載意見

【交通】

- ・新幹線の乗換について。例えば小田原駅は在来線との乗換が非常に便利と思います。現在の計画では駅周辺の開発は進むと思いますが、新駅を利用される人にとって、在来線との利便性(遠いような気がします(計画では))を考慮した方がよいのではないかと。そもそも相鉄線の延長計画があるのでしょうか。
- ・在来線の複線化。
- ・倉見大神への橋及び地下鉄が入ると便利ではないかと思う。

【観光】

- ・寒川町が通過点ではなく、目的地として選ばれる。観光目的になるのも、足を止めたくなくなる何かがあると良い。

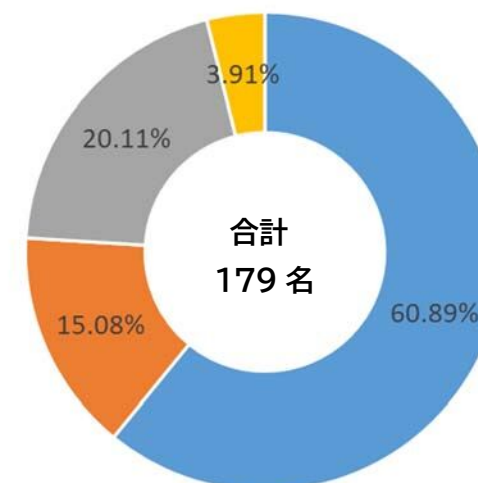
【環境】

- ・現状のままでよい。
- ・ただ出入りする人間を増やし、賑やかにするのではなく、住んでいる人間が、長く住み続けるための、店や憩いの場が欲しい。

【土地利用】

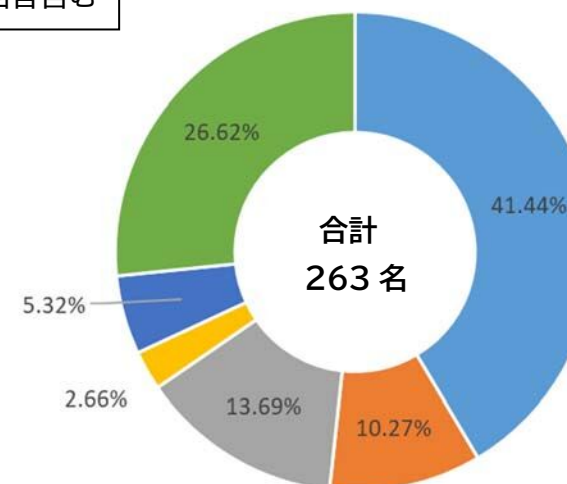
- ・市街化区域の具体的な案を示してほしい。
- ・神奈川県中央に位置し、多種多様な土地利用が考えられる地域だと思います。新幹線誘致は賛同しております。
- ・次世代に繋ぐ土地利用をしたいので、産業に力を入れるだけでなく、併せて子育てしやすい環境を街として取り組んで、具体的に示してほしい！その事が、街の活性化にもつながると思う。

回答分析グラフ



- 1. 賛同する(109名)
- 2. 賛同するが、もっと土地活用が図られる土地利用とした方がよい (27名)
- 3. 賛同しない (36名)
- 4. その他 (7名)

【参考】無回答・未回答含む



- 1. 賛同する(109名)
- 2. 賛同するが、もっと土地活用が図られる土地利用とした方がよい (27名)
- 3. 賛同しない (36名)
- 4. その他 (7名)
- 無回答 (14名)
- 未回答 (70名)

※記載意見(点線囲い)については、個人が特定できる内容を除き、加筆や修正等せず、原文をそのまま掲載しております。

・商業エリアが小さすぎて、寒川駅前のような中途半端なメリットのない開発になってしまう。

・エネルギーをつくれる町づくりが必要だと思います。

【その他】

・新幹線新駅が本当に必要か、そのあたりがまだ理解出来ていない。

・寒川、茅ヶ崎、海老名、平塚の新駅に対する盛り上がりが見えない。

・今のままが最高ですとってます。

・先祖様から頂いた土地を自分の代で無くしたくないので反対します。

・当該地は昭和の中期に理想的な整備をした地域です。そこに再整備する以上は、広く他地域に誇り得るまちづくりとされたい。

・寒川町の活性化。インター、新幹線駅があることは大変アドバンテージがあると思います。

4. 「その他」での記載意見

・デメリットの事は？

・賛同するが、実現したらエリア外に住みたい。

・年を取っているなので、今はどうしていいかわからないで困っています！！

・私がこの世に居る間は無理でしょう？

・新幹線新駅の誘致よりも小田急線や相鉄線の延伸を考えた方がよい。

・多数の方々が期待している町並みの整備です。24haに限らず広範なゆとりあるまちづくりを期待しております。

・我家は農地の納税猶予を受けていますので、市街化区域等には編入できません。

・利便性の高い土地利用を行う上で、交通面において、新幹線新駅と在来線とのアクセス性や商業エリアの利用に関心（不安）を抱いているご意見が多くみられます。新駅設置の必要性だけでなく、バスやタクシーなどの公共交通全般（ネットワーク化）の在り方へのご理解を得ていく必要があると考えています。

※記載意見(点線囲い)については、個人が特定できる内容を除き、加筆や修正等せず、原文をそのまま掲載しております。

自由意見欄での記載意見

- 南側交通広場となり、立ち退きになると考えますが、その場合買収方式でお願いします。
- 高齢化が進む中で、寒川町の将来が見えてこない。新駅の利便性が見えない。企業、観光資源がない。新駅を設置した自治体のメリット、デメリットを聞きたい。設置に対して JR 東海側の回答が見えてこない。寒川町の交通機関はどうするのか？町民はどう思っているのか？盛り上がりが見えない。
- 相模線の複線化や在来線など交通機関の充実を図ってほしい。倉見駅で降りるメリットが有る様な施設の設置が望ましい。
- パンフレットでは良いことばかりが掲載されていますが、新幹線新駅を寒川町に誘致するメリットは本当にあるのか・・・？常々考えます。
- 膨大な予算を費やして、それが寒川町に利益となって戻ってくるのか？他市と同じ様な町づくりを行っても、ただ見た目は都市的になっても、他市から寒川に人々が来て、町が増益になるのか？将来を見据えて、魅力ある街づくりを持続できるのか？・・・等々、疑問点が山積しています。おそらく、新駅をつくり、道路が整備され、どこにでもある様な商業施設を配置して・・・という形で、ごく平凡な町づくりで収まっていく様に感じています。仮に、新幹線新駅ができ、他市・県から寒川駅に降りた方々は、そのまま鎌倉や江の島、箱根・・・と言った観光地に行く為の経由地として利用するでしょう。なので、利用者は増加する事とは思いますが、わざわざ新幹線に乗って寒川町に来て、観光やショッピング、施設利用をするのでしょうか？ショッピングや施設ならば、横浜や藤沢(辻堂)、海老名や厚木等、周辺の市に沢山あります。寒川が増益に繋がるとは、到底考えられず、はなはだ疑問です。今もそうですが、縦貫道ができた関係で、寒川(特に倉見地区)や海老名は倉庫が着実に増えてきました。このままでは寒川は「倉庫の町」と化す事でしょう。その結果、寒川町のように、美しい富士山が見える町はそう多くはありませんが、それも近い将来姿を消していくことでしょう。新駅を作り、道路を整備し、商業施設等をつくる事で、失われるものが沢山でてきます。環境は大事です。特に自然環境は住民にとって健康で、居心地の良い空間になります。それを崩していけば、いざ再生したいと気づき、再生に取り組むには多くの時間と費用がかかり、結局、元に戻す事は不可能となっていく事でしょう。壊すのは、一瞬ですが、再生は永遠の作業です。寒川の建物は低層が多く、空がとっても広い良い環境です。また、田畑や緑が残っている長閑な環境が残っています。そんな環境を持続・拡大して、他市では真似ができない街づくりにお金をかけ、美しい街並みや住民が楽しめるコミュニティ、他市では真似できない子育て教育環境・・・等々をコンセプトにした街づくりをされてはいかがでしょう。新駅で寒川を知ってもらうのではなく、住環境に特化した街づくりに力を入れ「寒川に住みたい！」「寒川に行きたい！」と、他市の方々が羨む様な町づくりにお金をかけて頂きたいと切に願っています。見た目の町づくりではなく、地に足がついた本気の町づくりをして、寒川を知ってもらうことの方が、重みと持続性のある素晴らしい町になっていく事と思っています。よろしくお願いします。
- 高齢の為、家を手放し引っ越しを考えられないです
- 個人の損得を優先すると町づくりは進まない。大きな意見での将来の町を考えていかないと、理想的な町は出来ない!!
- 新駅誘致及びまちづくり事業は、事業費などクリアする課題が大きすぎて、今もなお多くの方が実現困難と無関心である。現状打破するために寒川町は、不退転の決意、不退転の覚悟で事業推進していく強い意志を今まで以上に示し、合意形成に努めていくことが求められていると思います。またこれからは、スピード感ある事業推進が求められていると、強く感じています。
- 早く対応して欲しい。
- 現状維持。
- ◎相模線複線化について。
倉見駅を出て茅ヶ崎に行く時、出発してすぐに新幹線の下を通りますが、その軌道は単線用で複線用になっていない。それで複線化出来るのですか。又、駅によっては線路際に家が立っている。相模線全線を複線化するのに相当な工事費がかかるのに、そこまでしてやる必要があるのですか。このことで新駅誘致地区以外で新たに立ち退きが生じると思います。
- ◎ 新駅誘致地区について
新幹線新駅が倉見に決まって 20 年以上たちます。その間北側・南側に新しい家がぼつぼつと建っています。そこでみんな生活しています。それを駅を作るから、新しい施設を作るから立ち退かなければならないのはおかしい。なぜ新駅が倉見に決まった時点で新しく家を建てる事を、制限しなかったのですか。そうすれば工事にかかる工費も負担が軽く済んだのではないのでしょうか。
- 環境が良く、静かで、住みやすい街づくりを進めてほしい。
- このアンケートには関係ないのですが、以前音楽発表会を聞きに行って、寒川町の町歌を聞きました。1 回だけ聞いて、それから何年も立ってまるっきり耳にしてません。あんなに良い歌があるのに PR 不足じゃないですか。何かの集いの時とか流してほしいと思います。もったいないと思います。
- バイアスのかかっていない正しい集計結果の公開をお願いします。
- 行政の無策で、少子化が進み人口減少していくのに何故この時期に都市開発に金をかけるのか理解出来ない。どう考えても少子化対策が先でしょう。いい加減真面目に仕事して下さい。だいたい、新幹線を日常的に使う人がこの地域に何人いるの？それと、この調査結果は寒川町ホームページで公開するのは当たり前として、結果集計者の素性も公開して欲しいです。もはや、今の行政は調査結果も信用出来ない。
- 高齢のため、まちづくりについては皆さんのご判断に委ねる。

※記載意見(点線囲い)については、個人が特定できる内容を除き、加筆や修正等せず、原文をそのまま掲載しております。

●大神エリアのように新幹線新駅誘致の開設の前にイオンアウトレットモールができ、すでに地域の活性化が進んでいる。平日などは、50代以降の人々がショッピングを楽しんでいる。寒川町でも新幹線新駅の誘致に固執するのではなく、小田急線や相鉄線の延伸や新たな都市の活性化に舵取りを変更するべきだと思う。

●寒川町役場に私が問い合わせして分からないって言われて。今度は調査をお願い致します。って。もう少しこまめに情報を教えて欲しいです。お願い致します。

●全く期待していない。

●寒川町が将来的に発展するためには、住民の協力と多少の犠牲は必要不可欠です。町長のリーダーシップと強力な推進力を存分に発揮してほしいと思います。

●産業・業務エリアにある場合は立ち退かなければならないのか？

●ツインシティの具体的な計画(設計)の行動が遅いのでは？新規の建物が立ち、話し合い(移転等)難しくなるのでは？

●1. 平塚の大神地区の進展状況を見学したい。2. 相模線の複線化が優先すべきと考えるが(困難と思慮しますが)その努力が優先すべきではないか。3. 開発区域内の規制をかけなければ新建築物が増加してきているため、立ち退き等(移転)が困難となってしまう。

●何十年も時間(お金)をかけて、街づくりもダメ、駅もダメ・・・ではあまりにも・・・。絶好のチャンスだと思います。是非ともまず街づくりから始めましょう！地元の環境が変われば先方(JR 東海)も変わります！

●それをやる前に寒川の玄関口の寒川駅前の土地利用の見直しが必要だと思う。誰も駅を降りようと思わないと思う。

●新駅設置には賛同して致しますが、住まいと代替地は必須となります。その条件次第になると思います。立退になるか否か親身になって御配慮頂きますようお願い申し上げます。

● ※提案によると現状、市街地域に公園を提案してますが、南倉見セブンイレブンの北側に現状、田んぼがあります!!その田んぼの所に公園を持ってゆくことを提案します!!

理由 現在、田んぼについても固める案があると思われませんがセブンイレブンの駐車場において、3ヶ所、何回やっても水が溜まるヶ所があり、誰がその場所に行っても困るのは目に見えるからです!!

●私は該当地域の都市開発には賛成ですが、同じように私たち住民も住宅の収用に関連して、私たちの住宅がどのようなのか、具体的に説明して欲しいと思っています。殆どの住宅は銀行から融資されていると思うからです。それと作品の開始日の見積もりも欲しいです(作品の開始予定日を決めずにプロジェクトを始める人は、いないことは誰もが知っているからです)正直に言うと購入したことを少し後悔しました。その地域の家を、家やその他のものを改善する意欲を失ってしまうからです。私の息子は学校へ通っていますが、小学校を卒業するだろうか、それともその前に友達から離れなければならないだろうか、という考えが残っています。少なくとも小学校を卒業している？金銭面以外も大事なことは沢山あると思いますが・・・。

●1.年金での生活で税金のすべてがクリアできることは不可能。具体的に税金が市街化になったらの税金を個別に示してほしい。 2. 将来の土地利用の方向性について 商業・業務エリアとして位置づけしているのに、土地を造成し住宅を建設する許可を出す。方向性との整合性を感じない。

●開発することには賛成だが、立ち退きはタイミングと条件が合わないと思う。それにあわせてこちらでも生活したいが、何十年もはっきりしないので、私たちの長い人生を計画しずらく不快。住宅ローンもあるなかで、いくら補償してくれるのか、タイミングはいつなのかを明確にして欲しい。

●生産性の低い農業を励むべきではない。近隣に誇り得る現想的なまちづくりを望んでおります。

●調査対象の区域の道が狭い道まででは、利便性がないのもう 1 つ北側の道路まで伸ばした方がよいと思う。現在も物流倉庫や運送屋が多い為、大型車が多く通るから、道路が傷むし道が狭いので、区域を広げて将来的には、道と歩道を広げてほしいです。

●ツインシティ整備計画が策定されて 20 数年が経ち、土地の所有者の多くが世代変わりしてきている。農業で生計を維持できる時代ではない。団塊の世代がすべて後期高齢者になろうとしている中、まちづくりによる新たな財源(税収)を確保していることが必要である。世代がわりしている地主などに「みなさんに払っていただく税金を義務的縦貫だけでなくみなさんのために有効に使うためにまちづくりをして新たな税収となる新たな住民、新たな事業者を確保する」という説得が必要だと思う。

●次世代に繋ぐ土地利用をしたいので、産業に力を入れるだけでなく、併せて子育てしやすい環境を街として取り組んで、具体的に示して欲しい！その事が、街の活性化にもつながると思う。

●県や町の動きが遅く細かい内容が伝わってこない。

●まちづくりそのものに反対ではないが、人口減少が進んでいるのに新幹線の新駅が本当に必要なのか、計画にあるオフィスビルやホテルなどもどの程度利用者を見込んでいるのか、新しいきれいな街というイメージ先行になっていないか不安はあります。建物ばかり建てても負の遺産になるものもありますから。

●当方は農地は一町歩以上所存し耕作していますが倉見地区の土地は農地法 5 条の許可を受け転用地目変更していないだけです。

1. 区域内道路は最低 6m 幅の道路設計

2. 土地の高度利用建築物の容積率、建ぺい率の緩和措置

3. 50 年先、100 年先を考えた街づくりをして下さい。

●無理に新幹線新駅の町に倉見地区を変えなくてもよい。代々、住居している方々が散らばってしまう。駅周辺 桜町 中倉見、十二天の町(街)になると住民が減歩化してしまう。現在も不便を感じている様子はな

※記載意見(点線囲い)については、個人が特定できる内容を除き、加筆や修正等せず、原文をそのまま掲載しております。

と思う。<新幹線よりも>、コミュニティバス、<海老名～寒川>の路線バスの便を多くしたらどうですか。車の運転が出来ず独居老人も多くなりつつあるので、海老名に行くバス便が多くても良いのでは 特に日曜日の朝、夜が少ない。私の住んでいる地区は倉見駅まで遠いので。小田急線相鉄線利用。

- 新駅の設置がなくても、倉見の街づくりは進めること。倉見大神線だけならツインシティ倉見地区なんていない。
- 時代の変化が早いのでなるべく早急に予算をつけて実行した方がいいと思います。
- 確定した情報の共有をお願い致します。
- 自営業をしていますので、代替地や移店の費用、保証等が折り合いつけば良いと思っております。
- 現在は海老名に住んでいますので、時々しか、行きません。スーパーは近いし駅に近いので、便利で住みやすいと思っていました。前回は近所の方と同じだと話しておりました。倉見幼稚園の周りは家が密集して建ち、びっくりしました。住みやすい町にしていきたいと思います。
- 前から賛同してまして、これ以上歳を取ってはと思います。北側～南側広場までこの広さでつなぎ シェルターを作って下さい。その上の地権者の固定資産税や相続税の軽減。
- 10年後 2033年で今より少子化が進んでいます。次世代の方々を考えると今のうちに町全体でエネルギーを作れる町にした方が可能性が広がると思います。倉見がモデルになるようなエネルギーの取り入れ方をしたら話題性もあります。次世代の方々が住みやすい街づくりには必要かと思えます。工場や商業もエネルギーがあることでメリットもあると思います。
- 私も高齢となり、相続も心配していますが、同土地は同居の親族が相続する予定になっています。
- 高齢者人口は増加し、発生人口減少が問われている現在、どの様なメリットが有るのか否や疑問である。
- 隣の海老名市みたいに思い切った開発をしたらいいと思います。30年前駅前近くも田んぼだらけだった海老名市が、雲泥の差があった厚木市をあわてさせて、住みよい町住んでみたい町になっています。
- 平塚市と比べると大分遅れていると感じます。誘致を目指すならどんどん進めた方がいいと思います。最終的には駅ができて困る人はいないと思います。(今、反対している人々も)

自由意見について、数多くの、また、さまざまなお意見をいただき誠にありがとうございます。

この集計結果(自由意見)に対して個別にお答えすることにあたって、先ずは来年(令和6年)より、

【テーマ別】

→まちづくり全般[土地利用、都市施設(駅前広場・骨格道路・下水道など)、整備手法(寒川駅北口・田端西地区の事例)]、新駅にふさわしいまちの姿

【属性別】

→居住者、農地所有者、自営業者、賃貸されている方 など

に対応した説明会、勉強会(各種情報のご提供)を開催し、その中で対応させていただきます。

次に、それらを通じて個々のご事情(意見、疑問点)に対して個別にお答えできればと考えております。

また、それらの説明会の内容及び町がどのような考え方をお示したのかを、1回の説明会に対して少なくとも1回以上の「まちづくりニュース」を通じて周知を図ることとしてまいります。

農地所有者のみ対象の設問 集計結果

人数：48名（全体263名の18.25%）

- 人数割合は全体の2割に満たないものの、所有地面積は全体の約過半数を超えます。
- 「まちづくり」ということで、市街化区域への編入が前提条件となることから、農地から都市的土地利用への転換に賛成していただくことが必要となっています。

ご自身の職業について

【選択肢】

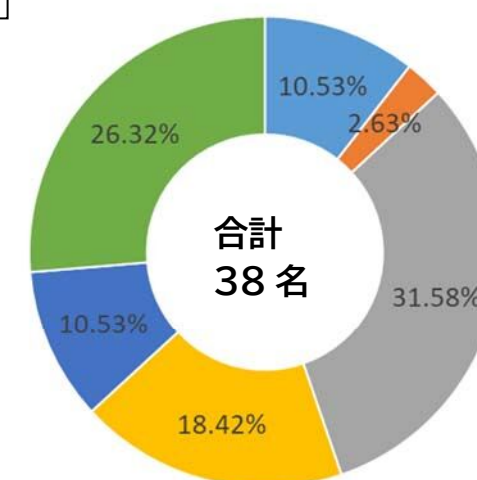
1. 専業農業
2. 第1種兼業農家
3. 第2種兼業農家
4. 会社員・公務員
5. 農業以外の自営業
6. その他

※ 用語解説 ※

第1種兼業農家、第2種兼業農家

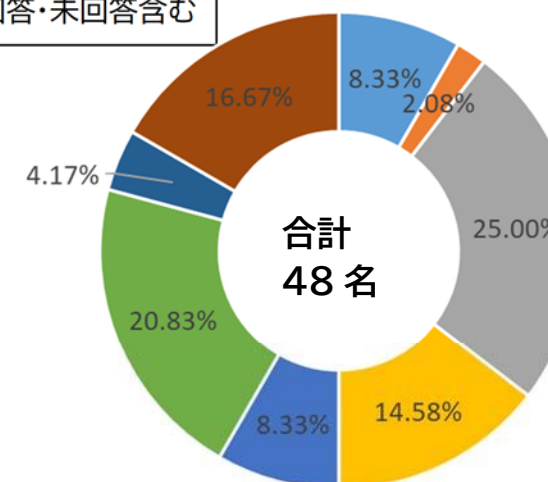
世帯員が自家の農業以外の仕事から収入を得ている農家をさします。農業所得を主とする第一種兼業農家と、農外(兼業)所得を主とする第二種兼業農家に分けられます。

回答分析グラフ



- 1. 専業農家 (4名)
- 2. 第1種兼業農家 (1名)
- 3. 第2種兼業農家 (12名)
- 4. 会社員・公務員 (7名)
- 5. 農業以外の自営業 (4名)
- 6. その他 (10名)

【参考】無回答・未回答含む



- 1. 専業農家 (4名)
- 2. 第1種兼業農家 (1名)
- 3. 第2種兼業農家 (12名)
- 4. 会社員・公務員 (7名)
- 5. 農業以外の自営業 (4名)
- 6. その他 (10名)
- 無回答 (2名)
- 未回答 (8名)

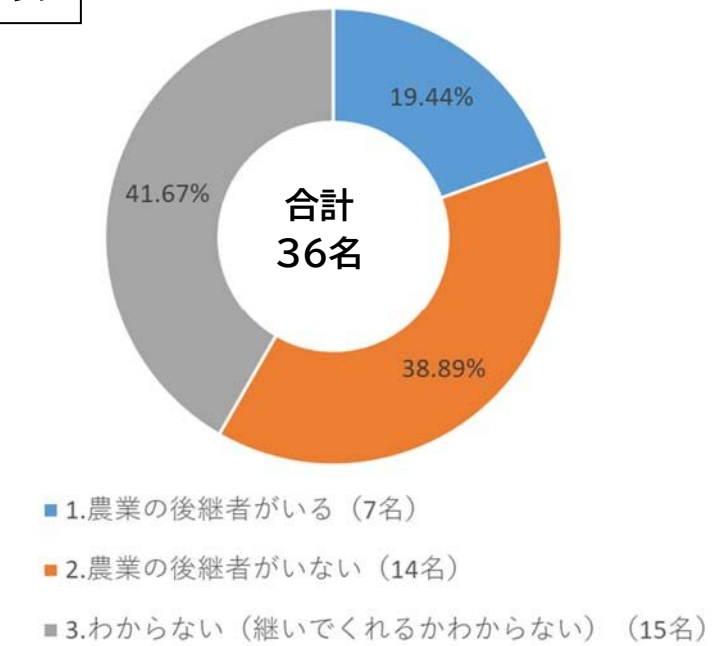
農業の後継者について

【選択肢】

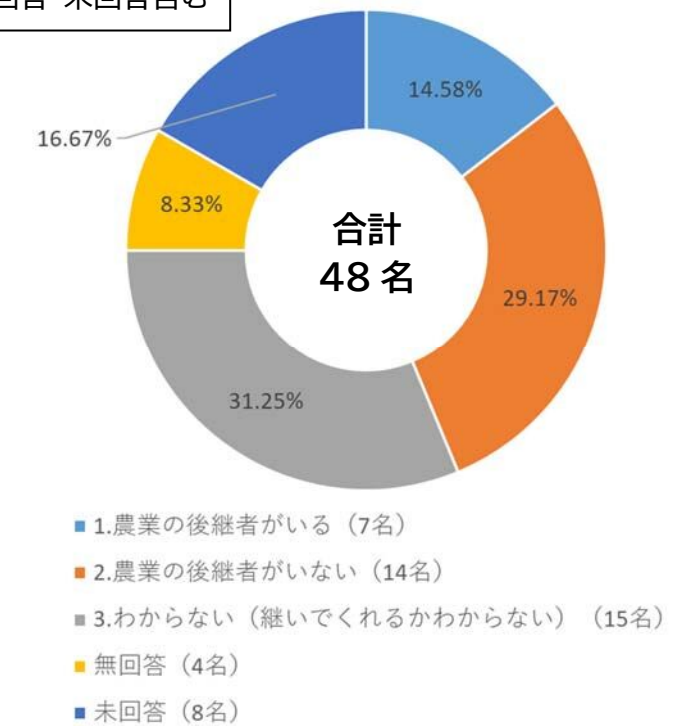
1. 農業の後継者がいる
2. 農業の後継者がいない
3. わからない(継いでくれるかわからない など)

・「農業の後継者がいない」が4割を占めているということで、今後の営農継続には課題がある農地所有者が少なからず存在するという結果となりました。そのため、まちづくりについての説明に加えて、この課題に応じた将来の土地活用やそれに伴う税制などについて、説明を尽くしていく必要があると考えております。

回答分析グラフ



【参考】無回答・未回答含む



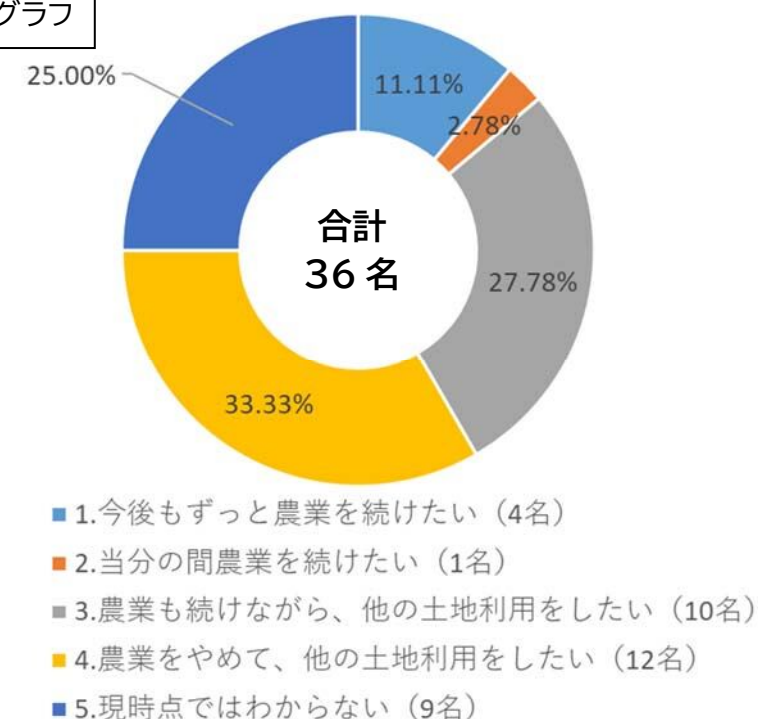
今後の営農の意向について

【選択肢】

1. 今後もずっと農業を続けたい
2. 当分の間農業を続けたい
3. 農業も続けながら、他の土地利用もしたい
4. 農業をやめて、他の土地利用をしたい
5. 現時点ではわからない

・後継者についての設問と同様、今後の営農継続については、農業以外の土地利用に関心をお持ちの農地所有者が一定数存在するという結果となりました。一方で、営農の継続を望む土地所有者もあり、まちづくりを進める上では個々の課題に応じた説明（土地の利活用、代替農地など）に努め、ご理解を得ていく必要があると考えております。

回答分析グラフ



【参考】無回答・未回答含む

